

ギネス認定 90歳総務部員



「世界最高齢総務部員」のギネス認定証を手にする玉置泰子さん—今年1月、大阪市西区(高橋義春撮影)

大阪のねじの専門商社に勤務する90歳の玉置泰子さんが「世界最高齢総務部員」としてギネス世界記録に認定された。勤続64年。「今日頑張れば、明日も頑張れる」の精神で、会社人生を歩んできた。かつてはそろばんやタイプライターで行ってきた業務もパソコンを駆使している。「私に定年はない。働けるかぎり、いつまでも頑張る」と生涯現役を誓う。

（高橋義春）

「働くことに喜びを感じています。工夫をすればどんどん楽しくなる仕事に、われを忘れて没頭してしまおう」

大阪市西区のサンコーインダストリーで現在も総務部長付課長を務め、経理や庶務を担当している。平日午前9時から午後5時半までのフルタイム勤務。新型コロナウイルスの影響で月に2回の「コロナ休暇」があるものの、基本は大阪府豊中市の自宅からバスと地下鉄で通勤する。「テレワークや時差出勤などで通勤する人が少なくなっています。私、いつも通り取り組むほか、スマートフォン

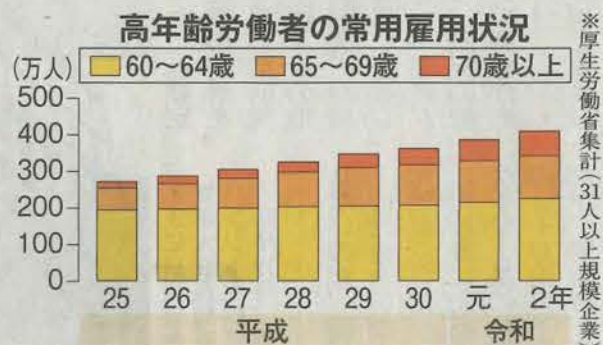
の気分がバスや地下鉄などに乗っています」とやり取りを話す。

出社するとメールやファクスをチェック。給与計算や会議の議事録を作成することなどが主な業務だ。約20年前、社内でIT化が急速に進んだとき、すでに70歳近かったが「わくわく気分」でパソコンの使い方を習得した。「そろばんや帳簿とのにらめっこから一変した業務に好奇心が止まらなかった」

今では表計算ソフト「エクセル」などを駆使してデータ分析やチェックなどに

今日、明日、明日…重ね勤続64年

「私に定年はない。働けるかぎり」



パソコンを駆使して働く玉置泰子さん—大阪市西区のサンコーインダストリー(南雲都撮影)

オンでフェイスブックを閲覧して、情報収集を怠らない。

15歳のときに父を亡く

し、商業高校を卒業後、体の弱かった母に代わって弟や妹を養うために簿記やタイプライターの腕を生かした仕事に励んできた。昭和31年、知人の紹介で

同社に入社。石油ショックやバブル崩壊、リーマン・ショックなど危機にも直面したが、「会社はピンチをチャンスに変えて乗り越えてきた」と振り返る。ねじの総合商社として成長を続けてきた同社の「語り部」として、新人研修も担当。奥山淑英社長は「私が生まれる前からサンコーインダストリーを見てきている。これからも元気で歴史語りをしてほしい」と願う。

健康と元気の秘訣は50年ほど前から続けているヨガ。毎朝5時半に起床して30分ほど鍛錬する。俳句や短歌もたしなみ、「心の癒やし」にする。同居する3歳下の妹が家事全般を担っており「妹の料理のおかげでいつも元気でいられる」とほほ笑む。

笑顔の絶えない玉置さんだが、課長になった40歳のとき、部下をまとめるのに苦心した。そんなとき、ほかの社員の退社後に1人残って全員の湯飲み茶碗を洗いながら、ふと思った。「社員の一人一人が光るためには、私があればいいから、私がいなくなると困る。個々に自分自身を磨くということに気づいてもらわなければ」

それから無理してまとめようとはせず、「一緒に仕事をしましょう」と語りかけることを心がけてきた。総務部の高田貴弘さん(26)は「誰かのために仕事をするのは当たり前」という玉置さんの言葉を胸に業務に励んでいます。とても力になる助言で、働くことへの喜びを感じさせてくれます」と感謝する。

健康と元気の秘訣は50年ほど前から続けているヨガ。毎朝5時半に起床して30分ほど鍛錬する。俳句や短歌もたしなみ、「心の癒やし」にする。同居する3歳下の妹が家事全般を担っており「妹の料理のおかげでいつも元気でいられる」とほほ笑む。

昨年末、同社内で行われたギネス世界記録の認定式。直前まで認定を知らされておらず、驚きながらも「積み重なって大きなことになる」との言葉が頭に浮かんだ。「一日一日を大切に積み重ね、会社とともに成長してきた。会社の人々が私の家族。みんなと一緒にいるときが一番の幸せ」と言い切った。

人生100歳時代 働き手は増加

人生100歳時代といわれる現代。働く意欲のある人が年齢に縛られずに働ける環境の整備が課題となっている。

厚生労働省によると従業員31人以上の企業の60歳以上の常用労働者は年々増加している。平成25年には272万人だったのが令和2年には409万人となり右肩上がりだ。今年4月には、改正高年齢労働者雇用安定法も施行され、70歳までの就業機会の確保が企業の努力義務となる。

法改正に先だって、家電量販店のノギーを蓄えてほしい」と話している。

シマでは昨年7月、定年後の再雇用契約の期限を従来の65歳から80歳に延長する制度を導入した。世界最高齢の総務部員、玉置泰子さんが働くサンコーインダストリーでも、約430人の従業員のうち60歳以上の働き手は23人のぼる。

長く、楽しく働き続けるコツについて、玉置さんは「長い人生の中、一喜一憂することも多々あると思いますが、今日頑張れば、明日も頑張れる。毎日有意義に暮らすことで先々のエネルギーを蓄えてほしい」と話している。